

た ま に 、 母 校 を 思 い 出 そ う

# 岡山白陵中 高 同窓会報

発行：岡山白陵同窓会  
〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588  
TEL:086-995-1255



三木忠吉先生之像

第20号

平成25年12月25日



## Contents

ごあいさつ .....	2
同窓会便り .....	3
・同窓会報告	
・東京同窓会発足	
活躍する同窓生 .....	8
母校便り .....	10
・ディベート甲子園 高校の部優勝	
・国際理解・国際協力のための高校生の 主張コンクール 最優秀賞受賞NYへ	
岡山白陵野球部OB会再結成のお知らせ...	12
編集後記	

## 岡山同窓会 開催決定！

### 2014年11月29日(土)

集おう、岡山の地で!! (詳細は次号で)



会長

大津 正和

MASAKAZU OTSU

### 会長挨拶

春に新校舎特集号をお届けしましたので、2回目の同窓会報のお届けとなります。普段にも増して、会報発行のためにご尽力くださった、役員はじめ会員の皆さんに感謝申し上げます。

今年の同窓会のトピックは、東京支部の発足です。以前から、関東方面の会員を中心に、活動していただいていたが、岡山白陵の東京支部が、正式に活動を始めました。このことは、岡山白陵の同窓生のたくさんの皆さんが、東京を中心とした関東圏で活躍されていることの反映だと思います。いうまでもなく、東京は日本の首都であり、中心です。その首都圏に多くの仲間が活躍されているということは、岡山白陵の社会的存在感を高めることになっていると、誇らしく思えます。折しも、東京では2020年のオリンピック開催が決まり、首都圏は、今後さらに発展が期待されます。東京支部も、これに呼応して、発展して行って欲しいと思います。一方、それ以外の地域でも、支部開設の希望が出てくることを期待しています。人数は問題ではありません。少人数でも、しっかりと結束して活動していただけるのであれば、北海道でも沖縄でも、もちろん海外でも、次々と支部ができてそれぞれに活動を進めていただければと、思います。

東京支部開設が示すように、岡山白陵同窓会は年々大きくなっていきますが、同窓会としての活動は、会員の皆さんひとりひとりの積極的な協力・参加がないと名ばかりともなりかねません。それぞれにお忙しいとは思いますが、今後とも同窓会活動へのますますのご協力をお願い申し上げます。

### 良き伝統

同窓生の皆様には平素より本校の教育にご理解をいただき、ご支援、ご協力いただいておりますこと感謝申し上げます。

昨年度は新校舎建築に際し、同窓会及び同窓生の皆様よりご寄付をいただき有難うございました。新校舎完成から1年以上が経過しましたが、生徒たちは新校舎にも慣れ、広々とした快適な教育空間の中で充実した学習活動を展開しているところです。

昨年度までは仮設校舎での文化発表会でしたが、今年は初めて新校舎を使った文化発表会となりました。ただ、台風等天候不順による警報発令のため十分な準備期間がとれませんでした。教室におけるクラス展示等、短い時間の中でよくやってくれたと思っています。また、運動会も今年は3年振りに本校の運動場で行いました。昨年度は仮設校舎撤去後の運動場整備が完全ではなかったため、一昨年同様、岡山ドームで行いました。今年度は天候不順にたたられ、運動会は二日順延となり平日の開催となりましたが、大勢の保護者の皆様に来ていただいて盛大に行われました。入場行進、応援合戦、騎馬戦では惜しみない拍手をいただきました。

本校生の良いところは、切り替えと集中ではないかと思っています。切羽詰まった時間の中でそれなりの準備をし、見る者に感動を与えることができるのは、先輩から受け継いだ本校の良き伝統ではないかと思っています。

ところで、今年は同窓会の東京支部が発足するというので、6月29日に教頭を始め本校の職員共々、お祝いに駆けつけさせていただきました。約130名が銀座に集まれ、井之頭病院副院長の田中祥雅氏（6期生）が東京碧翠会会長となられ、盛大かつ和やかに会が催されたこと大変おめでたく、また本校にとっても心強く感じました。

同窓生の皆さんにとって誇りとなる母校であり続けるよう努力する所存でありますので、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。



校長

石原 元秀

MOTOHIDE ISHIHARA

# 同窓会 Report

便り

## 同窓会報告



### 高校5期生同窓会

6月22日に三木学園長30周忌の募参、同窓会をセトレハイランドヴィラ姫路にて実施致しました。参加人数は32名で、中学卒業時に進路変更したメンバーなども約10名集まりました。

(5期 藤原 直彦)

### 中学5期生 同窓会 高校8期生

8月24日（土）に岡山白陵中学校5期生の同窓会を神戸の三宮で開催しました。

私たちの期は中学1クラス制最後の期で、入学時は47名でしたが、卒業時は27名でした。

そこで、岡山白陵中学校1980年入学同期生を対象に連絡の取れる方に案内しましたが、参加できたのは卒業時の27名のうち9名でした。ほとんどが高校も同期生ですが、卒業後同窓会初参加の方もいたので、大変盛況でした。

欠席された方も「次回は是非参加したい」という声があったので、定期的に開催して更にも多くの方が参加できるようにしたいと思います。

(8期 浜本 八志良)



### 11期生 卒業25周年記念同窓会

2013年8月17日（土）大阪市内にて

卒業後、25年を記念して、11期生で同窓会を開催しました。発起人の福田有子（旧姓：劉）さんと岡山容子（旧姓：尾崎）さんが中心となり、卒業時の1/4にあたる約40人の卒業生が集まりました。学年団の平尾先生、大森先生、長野先生、木村先生、水田先生もわざわざ大阪まで足をお運び頂きました。現在43歳となった同期でしたが、集まった途端に高校時代そのままのノリで、昔話に花が咲きあつという間の3時間が過ぎました。

最後は、なんと！全員で肩を組んで校歌斉唱を行いました。不思議と25年たっても校歌って歌えるもんですね。岡山白陵で巣立ったことを感謝し、全員の今後の活躍を約束しました。

今回、来れなかった同期の皆様。次回は5年後（卒業30周年）の8月に行くことになりましたので是非とも参加お願い致します。

(11期 羽瀨 繁)



## 岡山白陵高等学校東京同窓会 「東京碧翠会」の発足について



東京碧翠会事務局長  
後白 一樹  
(22期生)

岡山白陵OG・OBの皆様、こんにちは。22期生(平成12年3月卒業)で、「東京碧翠会」事務局長の後白一樹(ごしろかずき)と申します。今回、岡山白陵の東京同窓会である「東京碧翠会」について紹介させていただける機会をいただき、大変感謝しております。

さて、岡山白陵ではご存じのとおり、私の期の少し前の頃から、東京大学をはじめとした在京の大学への進学実績を大幅に伸ばしております。また、そのことに伴い、大学卒業後も、東京近辺で勤務されている方々が大変多く、これは、同じく在京勤務の私個人としても大変嬉しい状況です。

東京において岡山白陵関係で集まるといったとき、これまで、同期生を中心に集まることが多かったのですが、折角ならもっと幅広く集まっているようなネットワーク作りもしたいという思いが皆さんの中にもあったのだと思います。そうした思いが「東京碧翠会」の発足につながったのだと思います。

もう少し具体的に発足経緯をご紹介しておきたいと思います。実は、高砂白陵において、少し前から東京同窓会を発足されており、高砂白陵OBで兵庫県庁の東京事務所の長澤均さん(高砂11期)から、23期生の羽田翔くんと私(お互い総務省で同期)にお誘いがあったことがきっかけで、平成22年2月に渋谷で行われた同窓会に、大森



教頭とともに10名弱で参加させていただきました。平成24年7月の品川プリンスの同窓会では、岡山白陵から110名を超える皆様に参加されました。その同窓会の後、二次会を岡山白陵関係者で行ったのですが、そこで、「やはり岡山白陵としても東京同窓会を独り立ちさせたい!」という話で盛り上がり、8月の岡山白陵同窓会役員会において発足が承認されることとなりました。また、大森教頭のご協力もあり、田中祥雅会長をはじめとした幹事のほか、翌年の開催日まで決定することができました。

そして、今年6月29日に迎えた第1回「東京碧翠会」では、第1回にもかかわらず、114名のOB・OGの方々、さらには、石原校長をはじめとした12名の先生方にご参加いただきました。当日は、大変短い時間ではありましたが、それぞれ、お世話になった先生方や懐かしい顔との再会を楽しんでいたように思います。私としては、現役吹奏楽部の皆様の演奏DVDにのせて、校歌斉唱した瞬間、少し込み上げるものがありました。

さて、来年も既に日程が決まっています。平成26年6月28日(土)です(会場は未定)。ご多忙の中、先生方もまた多くご参加いただけると伺っております。皆様も奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。一緒に盛り上げていければと存じます。

最後になりましたが、岡山白陵高校・中学校の益々のご発展を祈念いたしますとともに、皆様におかれましては、間もなく年末年始で慌ただしい時期を迎えますが、ご自愛のほどお祈り申し上げます。

### 次回 第2回東京同窓会 「東京碧翠会」開催日時決定

平成26(2014)年6月28日(土)

詳細をお知らせします。まずはご登録ください

●メーリングリスト

参加希望の方は、東京碧翠会の幹事会メーリングリスト([tokyohekisui-kanji@freeml.com](mailto:tokyohekisui-kanji@freeml.com))にご連絡ください。参加者メーリングリスト([tokyohekisui-all@freeml.com](mailto:tokyohekisui-all@freeml.com))に登録させていただきます。

●Facebookページ

専用ページ(<https://www.facebook.com/groups/388579981239135/>)にアクセスの上、参加リクエストをしてください。



(幹事メンバー)

- 会 長：6期 田中 祥雅 (井之頭病院副院長)
- 副 会 長：9期 永原 琢朗  
(キミセ醤油株式会社代表取締役社長)
- 女 性 部 長：9期 河田 祐子  
(株式会社アースリング代表取締役)
- 事 務 局 長：22期 後白 一樹 (総務省)
- 事務局長補佐：22期 和田 隆 (Apple Japan)
- 学 生 部 長：32期 布施 貴史 (東京大学)



東京碧翠会幹事  
**河田 裕子**  
(9期生)

東京碧翠会の幹事をさせていただいております、9期の河田です。皆様、ご健勝のことと存じます。

今年6月に初めて東京での同窓会が開催されましたが、当日は、岡山から石原校長はじめ何人も先生方が駆けつけてくださった上、多くの同窓生に再会でき、大変楽しい時間となりました。東京でも多くの同窓生が活躍されていることが分かり、我が母校の底力を感じる時間ともなりました。

個人的には、先立って開催されていた9期の同窓会で、多くの同級生や、大森教頭はじめ懐かしい先生方と二十数年ぶりの再会を果たすことが出来ましたが、それを皮切りに、多くの同窓生との交流が復活したように感じています。昨夏は兄弟校である白陵の東京同窓会の方々が合同同窓会として声を掛けていただき、大勢の岡白同窓生も参集して盛会となり、今年はどうとう、岡山白陵の東京同窓会（東京碧翠会）の開催となったわけですが、私も幹事の一人として、微力ながら準備に携わらせて頂きました。

大森教頭の力強いご支援があったこと、そして、前年の東京合同同窓会に参加させていただいた経験もあり、十分というわけにはいかなかったと思いますが、何とか、準備を進めさせていただきました。幹事で何度かの打合せを実施、直前には、私の同級の水野さんも参加してくれ、22期の後白君、和田君と土曜日の夜集まって詳細を詰めたことも、大変楽しい経験となりました。

今後も更に東京碧翠会を活発にするために、日頃から同窓生との交流を大切にしていければと考えています。私の経営する浜松町の日本料理店（純吟亭 瑞祥）でも、岡白・白陵ともに多くの同窓生がご利用下さっておりますが、たまたま思わぬ再会となった方々もありました。旧友の皆様が集える場所のご提供でお役に立てれば、この上ない幸せです。

末筆になりましたが、今後も更なる母校の発展を祈念しております。



東京碧翠会幹事  
**布施 貴史**  
(32期生)

昨冬、東京碧翠会の学生部長を拝命致しました32期生の布施貴史と申します。まだまだ至らぬ点が多いかと思いますが、母校の更なる発展に微力ながら寄与して参る所存です。何卒お願い申し上げます。

さて、大学生活の四年間は専門的な学問研究の期間であると同時に、社会に出るための準備期間でもあります。しかし、今までその人生の大半において敷かれたレールの上を走ってきた大学生にとって、社会とはあまりに広く、深い存在です。そのため、自分は社会でどのようにして生きて行けば良いのか、どのような形で社会に貢献できるのかを考えることは容易ではないと言えます。

そのような中で、社会で活躍していらっしゃる岡山白陵の先輩方とお会いできる同窓会は非常に貴重な場となりました。私は残念ながら、今年の同窓会には参加することができなかったのですが、昨年開かれた高砂白陵との合同の同窓会では多くの先輩方からお話を伺い、社会への見識を深めることができました。同窓会は、ともすれば無意味に過ごしてしまいがちな大学生活において、岡山白陵で学んだ「教養と節度」「愛知と究理」を再確認する場でもあると思います。

大学生にとって、自分の将来についての想像を膨らませる上で、母校の同窓会ほど心強いものはございません。まだ発足して間もない東京碧翠会ですが、母校の更なる発展のため、鋭意努力いたす所存でございます。皆様の一層のご支援とご協力を賜りますよう今後とも何卒お願い申し上げます。



**中島 制時**  
(25期生)

2013年6月29日、銀座にて岡山白陵OB会が開かれ参加させていただきました。当日は100名を超える卒業生の方が出席され、盛大な会となりました。懐かしい同級生、先輩、後輩にお会いできて楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。

年明けから綿密に打ち合わせをしていただいた事務局の方々への感謝と、お忙しい中わざわざ東京までお越しくださった校長先生や恩師の先生方に重ねて感謝の気持ちを述べさせていただきます。

当日同窓会が開かれた後、OGの先輩が経営されているお店をお借りして、懇親会が開かれました。丸一日参加させていただいた中で初めてお話をさせていただいた先輩も数多くいらっしゃいました。年齢を超えてお互いの学生時代の部活や学園祭などの思い出話、社会人として各方面でご活躍されている先輩方の話を聞くことが出来、懐かしさと共に刺激を受けました。

また、最近の学校での出来事や受験動向も何うことが出来ました。私自身、バレー部だったこともあり、岡山白陵のバレー部現役の方のご活躍を聞き、自分も改めて今の立場でもっと頑張らなければと痛感させられました。このような機会をいただけたことに心より深く感謝しております。

本OB会は、2012年の高砂白陵との合同OB会に始まり、今回で実質二回目でした。東京に住んでいらっしゃる卒業生の方も増加していると伺いますので、卒業してからも母校の繋がりを大事に出来る場として今後も継続して盛り上げていかれることを願っております。



**岡山での同窓会開催も決定しました!**

**平成26(2014)年11月29日(土)**

詳細は、次号でお知らせします。(平成26年9月発行予定)

# 活躍する同窓生

今回も様々な方面から多彩な方をお迎えして「活躍する卒業生」をお届けします。今回は、松本啓之さん(8期生)、鈴木誠さん(11期生)、羽田翔さん(23期生)、酒井茂樹さん(30期生)をご紹介します。

## 松本 啓之 (8期生)

ANA/フライトオペレーションセンターB737部パイロット



### 岡山上空気流良好!!!

“皆様本日の御搭乗、誠に有難う御座います。当機は現在岡山上空4万feet...、ANA全日空にて機長業務を、Boeing737NGにて日本国内と中国アジア地区を主に飛びまわっております。

ごく普通な家庭に生れ育ち、幼い頃に空と飛行機に興味を持ち、何かの縁で岡山白陵高&碧翠寮に入ったのがもう30年前。お世辞にも優秀などと言えるどころか、何か出来るでも無く、真面目そうに見えるだけで中身は何も無いという高校生でした。当然、大学受験も失敗の連続。しかし、どうしてもPILOTになりたいかった私は、20代になってから本腰が入った様に思います。(先生方、すみません。)

そんな中でも、やりたいことがある事の幸せや、それが出来る環境下にいることの幸せ、人生やり直す機会もあるもんだという

事を実感します。

PILOTという空中職、副操縦士になるまでに約5年、機長に昇格するまで更に15年かかるとも言われます。一人前になっても、訓練や審査の連続で、半年に一度は受けなければならず、その間にも半年に一度航空身体検査という厄介な物まであります。出来が悪かった私の10代の中でも、勉強する状況、努力、継続、息抜き...といった事が岡山白陵の頃に身につけていた様です。

通り慣れた航空路でも岡山白陵や吉井川が見えると、ふとあの校歌の鼻歌となる時も。MACH0.8の中での岡山白陵校歌は、ちと難しいですが...。いつか岡山白陵OBと一緒にCOCKPITから岡山白陵を見ることが出来たらと思いながら、インド・ムンバイへの2泊4日のFlightに行ってきます。

## 鈴木 誠 (11期生)

赤穂パン社長

### ありがとうございました!

ええーっと。岡白卒業してパン屋をしている“貴重な存在”の11期卒業生 鈴木誠です。

僕は 中学、高校と6年間お世話になりましたが良い面も悪い面も学ぶことが出来ました。進学校ならではの 受験勉強のための勉強、それに伴う 様々な軋轢。脱落していく仲間も毎年いました。大変だったといえば 大変でしたが これは 正に自分たちが 今 生き抜いている社会そのもので、卒業当初は、岡白のやり方を非難してましたが、社会で 独り立ちしていかななくてはならなくなった時、気付きました。岡白の時のように「努力するしかない」ってことに。

確かに 天才は いました。何をやってもすごい奴が。

でも そんなことを羨んでみても、自分には

何もプラスにはならない。

だから 人が遊んでいる時、寝ている時に、歯をくいしばって努力する。

岡白は、いい大学に入るための学校だったのではなくって、社会で生き抜いていくための学校だったんだ...って 今は思えるようになりました。

最近はいろんな先生が うちにパンを買いに来てくださいます。

その時に言うんです。

本当は照れ臭くて言えない

「あの時はありがとうございました!」

っていう感謝の気持ちと共に

「来てくれてありがとうございました!」って。



## 羽田 翔 (23期生)

総務省勤務 (NY在住)

### 一朵の白い雲を見つめて

23期生の羽田翔と申します。人類史上未だかつてない少子高齢化社会を迎えても、地域が独自の輝きを放ちながら力強く生き抜く日本の一助になりたいと思い、総務省の門をたたいて早7年半が経過しました。入省後、愛媛県庁勤務を経て、消防庁、自治行政局と地方自治分野に携わり、今は米国コロンビア大学国際公共政策大学院にて日々勉強に追われています。

「アベノミクスについてどう思うか」という政策的な内容から「何故日本人は時間に厳しいのか」といった文化人類学的な質問まで、各国の学生と侃々諤々の議論の末、とかく導かれる結論は我が国の特異性です。社会保障、教育から選挙に至るまで広範囲にわたって機会均等が保障される一方で、構造改革の遅れ、起業率の低迷や女性の社会進出など、特異性故に直面する課題を解決する処方箋は何か、残念ながら私自身も明確な答えには至っていません。



ただ、留学を通じて一つだけ確信を得られたこと、それは熊山での鍛錬によって身につけた教養と節度は、世界でも十分に通用するものであるということ。母校での6年間は、霊峰熊山の坂の上に輝く一朵の白い雲を見つめて走り抜ける毎日でした。その雲は、遠くニューヨークにまで続く道標だったのかもしれませんが。今の自分があるのは、ひとえに熱心かつ真摯に生徒に向き合う先生方の情熱のお陰であり、深く感謝いたしております。その御恩に報い、自己の存在を自覚し生きていたことの証を残して生涯を終われるよう更に精進してまいりますので、引き続きご指導のほどよろしく申し上げます。末筆ながら岡山白陵の益々のご繁栄を心より祈念申し上げます。

(写真：日本研究の第一人者ジェラルド・カーティス教授との一コマ)

## 酒井 茂樹 (30期生)

姫路西高校勤務

こんにちは、30期生の酒井です。みなさまいかがお過ごしでしょうか。私は兵庫県の高校で数学の教師をしています。

さて、在校当時の思い出ということで、カッターを漕いだり、ロンドンに修学旅行に行ったり、ひっそりと部活や生徒会をしたり、懐かしい思い出に浸っています。

その中でも、入学して最初に行われたオリエンテーションには大変驚きました。逆らってはいけない雰囲気を感じました(笑)。それはさておき、勉強ももちろん大切だと思いますが、それ以前に一人の人間として、社会に出たときのマナーは勉強以上に大切だと思います。それを勉強する場という意味で、すごくいい行事だと思います。ちなみに、当初オリエンティングと勘違いして、山を歩き回るイベントだと

思っていました(笑)。

色々なことが思い出されますが、どのことを思い出してもやはり岡山白陵は素晴らしい学校だと思います。電車で岡白生を見る度に懐かしく、また岡山白陵に通える生徒たちを羨ましく思います。そんな岡山白陵を卒業したのだということを誇りに、これからもがんばっていききたいと思います。



# 母校 便り

## 【二大特集】

### 1. デイベート甲子園 高校の部 優勝

デイベート同好会、ついに高校の部での全国優勝です!! チームの推進力となった高2 真田知佳さんにご感想をお聞きしました。



今年の8月12日、東洋大学の円了ホールスクリーンには、「岡山白陵高校」の文字が映し出されました。夏に行われた第18回全国中学高校ディベート選手権で、高校が全国優勝することが出来ました。

今年の論題は「首相公選制を導入すべきである、是か非か。」というもので、2月下旬に発表されました。岡山白陵ディベートチームは、中学では全国優勝や3位の経験がある一方で、高校ではベスト16が最高でした。だからこそ今年は、優勝するために出来ることはすべてやるという強い誓いをチームで決めました。論題が発表されたからは、休日という休日はいつもメンバー全員でディベートに費やしました。何時間もひたすらに本を読みあさり、しかし全く議論が進展しないような日を、何回も重ねました。

そうして7月の中四国地区大会を経て、8月10日から全国大会を迎えました。予選トーナメントでは、昨年3位の洛南高校を下し、1位通過することが出来ました。決勝リーグに上がってから、1試合1試合が緊迫した状態で、気がつくや準決勝までたどり着いていました。準決勝は慶応義塾高校との試合で、前日の夜遅くまでチームで諦めずに改善したことが大きな決め手となり、決勝に駒を進めることが出来ました。決勝戦は、昨年優勝校である東海高校との試合でしたが、今までの努力が実を結ぶ形となりました。優勝が決まった瞬間は、心から嬉しく、悔し涙ではなく、嬉し涙をメンバーと流すことが出来ました。

<7組>				<8組>			
	洛南	岡山白陵	能代	東海	北緯	奈良学園	
洛南高(神)	●	●	●	●	●	●	
岡山白陵高(岡山)	●	●	●	●	●	●	
能代高(秋田)	●	●	●	●	●	●	
東海大付属高(北海道)	●	●	●	●	●	●	

予選結果。いずれも強豪校ばかり。



白熱するミーティング。戦いはもう始まっている。



後列左より、高1新宮さん、末道さん、前川君  
前列左より、高1加藤君、高2岡本君、真田さん、佐々木さん

### 初優勝「自分たち信じた」

#### 岡山白陵高 2年生2人が原動力

「第18回全国中学・高校ディベート選手権(ディベート甲子園)」が12日、東京都文京区の東洋大で、準決勝と決勝が行われ、岡山白陵高が初優勝を飾った。岡山白陵高は、11日に行われた決勝トーナメント1回戦、増々慶応高(神奈川)との対戦も制し、昨年優勝の東海高(愛知)との決勝に臨んだ。「日本は首相公選制を導入すべきである、是か非か」

「(地)読売新聞、全国ディベート選手権、(愛知)パオリック丸、(福)ロッセ、日本テレビ放送局、(長)西日本、(宮)慶応大学

甲子園に臨んで優勝。中学と高校で栄冠を勝ち取った。真田さんは「本当にうれしかった。思っていたより、佐々木さんも、自分たちがやっていたことを信じて臨んだ。仲間のおかげで、互いに喜び合えた。」

岡山白陵中は東海中(愛知)にそれぞれ敗れて今大会を終えた。

(2013年8月31日 読売新聞)

## 県庁表敬訪問

ディベート甲子園優勝を受け、ディベート同好会のメンバーが伊原木岡山県知事を表敬訪問しました。



## 岡山白陵、知事に初V報告

### ディベート甲子園高校の部



伊原木知事にディベート甲子園での優勝を報告する岡山白陵高ディベート同好会の生徒たち(県庁で)

8月10～12日に東京で開かれた「第18回全国中学・高校ディベート選手権(ディベート甲子園)」(読売新聞社など主催)の高校の部で初優勝した、岡山白陵高ディベート同好会の生徒7人が12日、県庁を訪ね、伊原木知事に快挙を報告した。高校の部には、地方予選を勝ち抜いた32校が出場。「日本は首相公選制を導入すべきである。是か非か」の論題を巡って持論の展開や、相手の主張に反論するなどし、強豪を破った。この日、7人は石原元秀校長や後藤文昭顧問らとともに訪れ、後藤顧問が生徒を紹介。伊原木知事が「優勝おめでとう。この経験や知識を生かし、社会の役に立つ仕事をして」と祝福した。同好会会長の2年真田知佳さん(17)は「全員で6か月間、一生懸命に練習して、優勝という素晴らしい結果につながった」と話していた。

(2013年9月13日 読売新聞)

## 2. 第60回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール 外務大臣賞(最優秀賞)受賞!



外務省・日本国際連合協会主催の第60回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクールにおいて、岡山白陵高校3年生上田明さんが最優秀賞となる外務大臣賞を受賞されました。上田さんに受賞のご感想をうかがいました。



2013年10月21日、私は県代表として、第60回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会に出場しました。時間は6分。この制限の中で私は「未来の世界のため、環境保護と経済開発のどちらかを重視すべきか」というテーマのもと、貧しく世界平均寿命の短い国といわれるシェラレオネを例に挙げ「経済開発」を重視すべきだと強く主張しました。「自分がコップ一杯の水を持っていたとして、目の前に命の灯が今にも消えようとしている子供と、枯れかけの木があったなら、自分はどちらに先に水をあげるのだろうか」この問いが頭に浮かんだ時から私の答えは決まっていた。そのため、私以外の主張者がほぼ全員「環境保護」を選んでいただけには本当に驚きました。また、高校1・2年生が留学や海外経験をともに堂々と論を展開する姿には刺激を受けると共に自らの視野の狭さを改めて痛感しました。今回いただいた賞は、視野を広げるために、自ら厳しい舞台へ進み出て挑み、全力で自らの主張を発信しようとしたからこそ得られたものであると受けとめています。自らチャンスを掴みにいく心の強さを、未来の岡山白陵生に受け継いでいってほしいと思います。またこの場をお借りして、お忙しい中原稿作成にご協力いただいた船木先生並びに後藤先生と最後まで応援してくれた家族に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

上田 明

なお、岡山白陵高校のHPの「生徒の活躍」から、上田さんのスピーチ全文を御覧いただけます。



# 「岡山白陵野球部 OB 会再結成のお知らせ」

このたび、岡山白陵高等学校硬式野球部の発展に対して物心両面の援助を行うこと、また、OB会員相互の親睦を深めることを目的として岡山白陵硬式野球部OB会を再結成し、平成26年3月1日から下記のように活動を再開する運びになりました。

## 記

- 活動開始 平成26年3月1日～
- 会費 年3,000円  
(銀行の自動引き落とし)
- 総会 年1回

会の趣旨にご賛同いただき、入会をご希望のかたは okahaku.baseball@gmail.com へ表題に『お名前』、本文に『okahaku』をご記入の上メールをお願いします。

折り返し入会手続きの資料を送りいたします。

大阪大学 人間科学部  
岡山白陵高校33期生 石井 貴大



## 校舎建替寄付金ご協力者ご芳名

(平成25年4月18日以降)

口数	氏名	卒回
3口	神澤 玲帆	33 回生
1口	黒木 大輔	13 回生
//	橋本 勝	17 回生
//	戸部 彰洋	27 回生
1口	田中美代一 先生	旧職員

## 原稿募集

ご紹介  
下さい!

事務局では、今後も会員の方々のいろいろな情報を掲載し、会員相互の情報交換の場にしていきます。



- ・同期会、クラス会、OB会の報告
- ・旅行記、修学旅行、入学式、高校時代の思い出
- ・卒業生のご活躍の方々、お店の紹介
- ・同期会等の開催告知 etc...

まずは、同窓会事務局まで、郵送又はメールでお寄せ下さい。尚、紙面の都合上、掲載できない場合もございますので、ご了承下さい。

## 岡山白陵同窓会

〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588 TEL: 086-995-1255

学校ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/> 同窓会ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/dk>

E-mail [dousoukai@okahaku.ed.jp](mailto:dousoukai@okahaku.ed.jp)

## 編集

Editor's note

## 後記

伊勢神宮で20年に1度の式年遷宮が行われ、2020年の東京オリンピック開催が決定した今年、いつもにもまして沢山の方のご協力を賜り、この記念すべき20号ができあがりました。

今号の記念すべきは20という数字のさりのよさのみにあるわけではありません。今年、東京支部が発足、第一回東京同窓会が開かれました。多くの方が集われたこの会は、お一人お一人にとって、来し方をふりかえり郷愁に誘われたというだけのものではなかったでしょう。旧交をあたため、行く末に向けて活力を養い、新たな縁を結ぶ有意義な時間となったに違いありません。

岡山白陵同窓会にとって、これは文字通り、念に記すべきことだったと思います。

そして、この気運の盛り上がりを受け、来年は岡山でも同窓会を開くことになりました。これもまた一つの記念すべきことでしょう。時を経て熟成しながら、この岡山白陵同窓会もまた、新たな始まりの時を迎えたということでもあるでしょうか。

伊勢では式年遷宮の翌年はおかげ年と言われます。皆様にとって、新しい年が更なる幸福の年となりますよう、また11月には岡山で沢山の方にお目にかかることができますよう、心より祈念しております。